学校番号	２１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	・LT 現代文３（浜島書店） ・現代文単語　げんたん　改訂版（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな文章に触れることで、日本語の特徴をよく理解し、広い視野や多角的な視点で、思考する力をつけよう。
・さまざまな設問に対する解答力を身につけよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・評論で用いる重要語句について理解する。
・文章を一定時間内に読む速読速解力、設問に対する解答力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・評論文、随筆、小説を読み理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
・さまざまなテーマに対する興味、関心を高め、教養や感性の幅を広げる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる. ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばす。 ・創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。 ・言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	文脈の把握 ［教材］『遊びの効用』 『デジタル大航海時代』 ほか	a：語彙の量を増やし語彙を豊かにする。 b[読]：様々なテーマの文章について問題演習を行い、その文脈や構成を把握することができる。 c：要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 要約文 小論文	授業態度 予習・復習 レポート
	構成の把握 ［教材］『言葉の切り開く世界』 『味わい楽しむ暮らしの余白』 『妻の意外な返答』 『社会が生み出すアイロニー』 ほか	a：重要語句について学ぶ。 b[読]：様々なテーマの文章について問題演習を行い、その内容や、登場人物の心情について理解することができる。 c：要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 要約文 小論文	授業態度 予習・復習 レポート
	内容・心情の理解 ［教材］『自己を眺める』 『文学の芸術的価値』 『伝統の形成』 『新しい価値を求めて』 『堅固な決心』ほか	a：評論文の重要語句について学び、使いこなすことができる。 b[書]：様々な設問について、さらに深く学び、その記述の理由や、表現について理解し、書くことができる。 c：要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 要約文 小論文	授業態度 予習・復習 レポート
	理由説明の理解 ［教材］『意識とは何か』 『淡い喜び』 『李白の詩と人生』 『場所に根差した建築』 『紙の本を読むということ』 『文明の建設』 ほか	a：評論文の重要語句について学び、使いこなすことができる。 b[書]：様々な設問についてさらに深く学び、その記述の理由や、表現について理解し、的確に書くことができる。 c：要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 要約文 小論文	授業態度 予習・復習 レポート
	主旨・主題の把握 ［教材］『天災と国防』 『生きた音楽を語る』ほか	a：評論文の重要語句について学び、その語句を使って小論文を書くことができる。 b[話/聞]：評論文の記述問題の演習を行い、その文章の主旨主題を把握し、話したり、聞いたりすることができる。 c：要約について学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 要約文 小論文	授業態度 予習・復習 レポート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間